第５５回入学式
式　辞

体育館横の桜は、今を盛りと咲き誇り、正門前の道を来る皆様を出迎えていました。校庭を見下ろす欅は天に向かって枝を広げ、若葉を芽吹かせています。生命の躍動感あふれる季節となりました。このよき日、ＰＴＡ会長 様、後援会会長 様を御来賓に迎え、また保護者の皆様の御列席のもと、第５５回入学式を挙行できますことは、本校にとりまして、この上ない喜びです。

ただ今入学を許可しました３５８名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは晴れて坂戸高校生となりました。心から歓迎します。
本校は１９７１年の創立以来、今年度が５５年目にあたります。これまで築かれてきた歴史と伝統を引き継ぎ、さらに躍動していこうとする学校です。皆さんが、本校で生き生きと高校生活を送り、坂戸高校にさらなるよき伝統を積み上げてくれることを期待します。
これから坂戸高校で学ぶ皆さんに「出会う」と「壊す」をキーワードに話をしたいと思います 。

福岡伸一さんという生物学者がいます。中学校の国語の教科書にもこの方の文章を採り上げているものがありますし、高校の国語の教科書にも掲載されることの多い、皆さんにとっては、必読とも言うべき著者です。この方は「動的平衡」という著書の中で、原文のままではありませんが、概ね次のようなことを述べています。

私たちが食べ物という異物を取り込み続けなければならないのは、全身の細胞を絶え間なく壊しては作り替えているからだ。永続的に見える骨や歯も、その内部では常に新陳代謝が進行し、壊されながら作り替えられている。細胞分裂が起こらないとされる脳や心臓でさえ、個々の細胞の中身はどんどん壊され、新しい分子に置き換えられている。私たちの体は、絶え間のない分子の流れの中で、自分を壊しながら作り替えている。
まずこのイメージを持ってください 。

さて、「出会う」ことの話です。皆さんは全日制で、しかも生徒数が多い大規模校である坂戸高校を自ら選んで入学しました。教員の数も多い学校です。必然的に「他者との出会い」がたくさんあります。クラスで、選択授業で、体育祭などの行事で、部活動で、日常・非日常、様々な場面で様々な人と出会うでしょう。コロナパンデミックの 制約がなくなり、virtual ではなく actual なコミュニケーションが十分にとれるようになりました。たくさんの新しい出会いにドキドキして、お互いに刺激を与え合う高校生活が始まります。さらに、私は「出会う 」ことにもう一つの意味も込めたいと思います。それは「新しい自分との出会い」です。皆さんは、これまで１５、６年ほど生きてきて、自分の能力におよその見積もりを持っているだろうと思います。「自分の力はこのくらいだ」、「自分ががんばれるのはこの辺までだ」というように。しかしそれは、ごくわずかな経験のみを根拠にした思い込みかもしれません。皆さんの能力の大部分はまだ未開発です。気づいていない 潜在的

な能力がたくさんあるはずです。義務教育内容のうち５教科だけに限定した業者テストによる偏差値序列など、今後の人生では意味を持ちません。それが皆さんの能力の全容を表す訳ではありません。
これから皆さんを迎え入れるのは、義務教育時代とは質的にも量的にも、ひと味もふた味も違う勉強の世界です。これからが本番なのです。幼い頃から見慣れた顔ぶれとは違う大集団の中でもまれ、苦労して学び知識を身につける。未知の領域に踏み込み初めての経験をする。他者との出会いで異なる価値観を知る。意見の違いに葛藤する。周囲と自分を比較して悩む。そうした体験を重ね、それらを乗り越えるたびに皆さんは変容していきます。その都度新しい自分が現れてきます。それが積み重なるうちに、ある時、「ひと皮剥けたかな」とか「殻を破れたかな」という感覚が訪れる。これが「新しい自分との出会い」です。自分にできるとわかっている、不安もないが挑戦もない安全なゾーンを、comfort zone といいますが、comfort zone から踏み出さない限り新しい自分との出会いはありません。また、新しい自分との出会いは、自分一人で完結するものではありません。他者との関わりの中で、自分を相対化することで生じるものです。
私たちの体が、絶え間なく自分を壊しながら作り替えているように、comfort zone の境界を自ら壊す意思を持とう。中学校時代の偏差値序列の思い込みを壊す意思を持とう。過去のわずかな経験に基づく得意・不得意とか文系・理系とか性別とか、自分の興味関心に枠をはめている思い込みを壊す意思を持とう。今、自分が認識している自分の輪郭をただ守ろうとするのではなく、むしろ自ら壊して作り替えていく。そういう意識をもってほしいと思います。皆さんにとって高校生活が、新しい自分と繰り返し出会い、未知の可能性を発見していく旅になることを願っています。

坂戸高校は皆さんの可能性を存分に引き出す最高の舞台を用意しています。年間３４単位の豊富な教育メニュー、全力で打ち込める行事、バラエティーに富む部活動。様々な場面で他者と出会い、関わり、挑戦し、新しい自分と出会ってください。その先にある「なりたい自分」をつかんでください。

保護者の皆様、お子様の御入学おめでとうございます。高校生となったお子様の姿に、感慨もひとしおのことと拝察いたします。
本校では、お子様の３年後の姿を思い描きながら、丁寧に、時に厳しく、敬意と愛情を込めて教育指導にあたってまいります。何とぞ御理解の上、教職員と意思疎通しながら、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げ、式辞といたします。

令和７年４月７日
埼玉県立坂戸高等学校長 久住 毅